

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに地区の活動を紹介、6000字以内。関連写真があれば添付してください。

学生とボランティアを体験

広島中央ロータリークラブ
第二二〇地区 広島県

クラブは、広島市が地球温暖化対策として二酸化炭素削減などを目的に進める「マイカーデー運動」「マイカー乗るまあデー」のPRと、「献血支援活動」を兼ねた活動を続けており、五回目となりました。

活動にあたっては、市内の六つの大学（県立広島大学、広島大学歯学部、広島女学院大学、広島都市学園大学、広島修道大学、広島経済大学）の学生たちが、市や血液センターから講師を招いて開催する「事前学習会」を受講。活動の理念を共有した上で、参加してくれています。

街頭支援活動当日の五月一八日



街頭で献血を呼びかける学生たち

は、学生六二人、ロータリアンとその家族、関係者五三人の総勢一一五人が、午前九時半から午後三時半まで街頭での呼びかけを行いました。結果、献血受付者は目標を超えて一二〇人となり、うち八七人から献血を受けることができました。

終了時、学生全員に当クラブからボランティア参加認定書を贈りました。「継続は力なり」とよく言われますが、まさに私たちも五年間の活動を通じ、大学生とコミュニケーションを取りながら行う、新世代の世代を超えた奉仕活動になったと思います。なお、当日は「学生と……」がキーワードとなり、数社のマスコミから取材を受けました。

また、各大学から代表二人がクラブ例会へ出席し、後日行われた反省

会へは全員が出席して、今後の課題について協議しました。

甲府南RCの 平和フォーラム

甲府南ロータリークラブ
第二六二〇地区 山梨県

ロータリー世界平和フォーラム広島が、五月一七～一八日に開催されました。私たち甲府南ロータリークラブ（RC）でも、その開催日に最も近い例会日の同月一四日にフォーラムを開きました。

午後一時、例会場が暗くなり、音楽が流れ始めました。全響の作曲家・佐村河内守氏の交響曲第一番「HEROSHIMA」の第三楽章「希望」です。その重厚な曲を約二分間、会員に聴いてもらいました。会員は曲を聴きながら「広島」を意識したと思います。そうです。当クラブによるロータリー世界平和フォーラム広島への参加を意識したものです。

田中作次国際ロータリー（RI）会長（当時）は「平和をどのように定義するにせよ、それは奉仕を通じて達成できる目標です。（中略）奉仕とは生き方です」と述べています。この考えを踏まえ、私は「甲府南RCは奉仕を通じて平和を追求する組